

テーブルトピックスコンテスト審査基準

内容 (55%)

スピーチの展開とは、スピーカーの見解を聴衆が理解できるようにまとめるやり方を指します。テーブルトピックス応答は、目的に即して序論、本論、結論から構成されなければなりません。応答は、必要に応じて、適切な事例や実例、情報によって支えられ、なめらかに行われるものとします。

効果とは、応答が聴衆にどのような印象を与えたかについての審査委員の主観的な判断を指します。「スピーカーの意図は、明確に理解できたか。」「スピーチは、与えられた質問またはトピックに直接関連していたか。」「応答は、明瞭かつ論理的に提示されたか。」

話し方 (30%)

応答を身体でどう表現するかが、効果的なコミュニケーションの一端を担います。スピーカーの外見は、応答のよし悪しを強調するものではなくてはなりません。身振りや手振り、表情、立ち位置などの工夫により、ボディーランゲージで主張を支える必要があります。スピーカーは、指定されたスピーキング・エリアを効果的に使用し、それを外れないようにします。

声はメッセージを運ぶ音です。声は柔軟性に富み、強調するところは高さを変化させ、速さや大きさもバラエティーに富んでいる必要があります。よい声ははっきりと聞こえますし、言葉も理解しやすくなります。

言葉遣い (15%)

言葉の適切さとは、スピーチの目的やその場の聴衆に合わせた言葉を選択することを指します。考えを明確に理解する手助けとなるような、場にふさわしい言葉を選ぶことが必要です。

言葉を正確に使うことにより、スピーカーの話し方ではなくスピーチの内容に聴衆の注意が向きます。スピーカーは、文法的に正しい言葉を正確な発音で話すことにより、使っている言葉に熟達していることを示すことができます。

審査委員倫理規定

1. 審査委員はコンテストの1位、2位、3位の入賞者を選ぶ際にいかなる偏見や先入観も影響しないよう意識しなければなりません。どのコンテスト出場者についても、所属クラブ、エリア、ディビジョン、ディストリクトを考慮してはなりません。出場者の年齢、性別、人種、信条、出身国、職業、政治信念も考慮してはなりません。最大限の客觀性が求められます。
2. 審査委員はコンテスト出場者のスピーチの時間を計測しないものとします。審査を行なう際には、スピーチが時間不足あるいは時間超過となる可能性は考慮しません。
3. 審査委員の言動はコンテスト規則と審査基準に従わなければなりません。コンテストを公に批判してはならず、得点、順位の公表は公式の方針に従った方法でのみ行なうものとします。